

うさぎ組通信

様々な月齢の子どもたちがいるうさぎ組。今まで握っている玩具を振るだけだったのが、持ち替えたり、意思で手から離したり、手ではなく指でつかんだりと遊び方にも変化が見られるようになってきました。そこで、室内遊びでは、指や手を使った遊びをたくさん取り入れています。

今後も一人ひとりの発達にあった遊びを用意し、遊びの中で楽しく成長に必要な力を身に付けていけるよう援助していきたいと思います。

～いろいろな動作ができるようになってきたね～

物を積む



牛乳パックの積み木や筒にフェルトを巻いた積み木を使ってあそんでいます。中に鈴などが入っており、音が鳴る仕掛けになっています。

少し前までは振って音を楽しんでいたのですが、**積んで遊ぶ**姿が見られるようになってきました。

指先に力を入れてつまむ→持ち上げる→位置を合わせる→力加減をしながら乗せるというように、**積む**という遊びの中にも子どもたちの様々な動作が隠れています。指先が器用に使えるようになってきたことで、遊びの幅が広がってきますね！



そーっと
そーっと



穴に入れる



ぽとんと落とし、カード落とし、ボール落とし、玉転がしと様々な大きさのものを穴に入れることを楽しんでいます。

玉転がしが大好きな子どもたち。大型の玉転がしを用意すると、手に握った球を上手に穴の中に入れます。ころころと転がる様子が面白いようで、目で球を追いかけて動きを見て楽しんでいますよ。



細い穴にカードを合わせる事が難しいな～



型にはめる

形を合わせてはめることが少しずつできるようになってきました。目と手も協働してきているので、入れる穴をじっと見ながら、両手を使って細かな動きを楽しんでいます。



色の違いに気づき、色を合わせてはめています！



形を合わせて入るかな？

おねがい

- * 持ち物には、分かりやすい位置に大きく名前の記入をお願いします。(上着、靴下にも記名をしてください。)
- * 戸外遊びを控えたいときは、その都度連絡帳にてお知らせください。



新しいお友達

